

# 令和元年度事業報告

平成31年4月1日から令和2年3月31日

特定非営利活動法人西部ろうあ仲間サロン会

## 総括

平成28年度に、『聴覚障がい者の一人ひとりが「在る」、よりどころが「在る」、地域の中に「在る」、そんな社会を作りたい』と活動理念を掲げスタートした活動も4年が経過した。聴覚障がい者や関係者だけではなく、様々な人々が交流し「感覚的に障がいを理解する」人を増やすことで、聴覚障がい者を取りまく問題と共生社会の実現を具現化することを目的とした取り組みは、各種事業にも、多くの賛同者の力を借りて、初年度以上に様々な事業を展開することができた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大により、年度末には活動休止を余儀なくされ、拠点の狭さが原因で、集まることすらできなくなってしまった。今後の活動拠点について再考する必要が出てきた。

## 会員等加入活動について

西部ろうあ仲間サロン会の趣旨に賛同していただける賛助会員を募り、資金援助を求めた。

## 活用した委託金等

西部圏域委託事業・県補助金・助成金

## 各種事業実施について

### 1. 西部圏域高齢聴覚障がい者等日中活動支援事業の実施

〔目的〕 高齢聴覚障がい者を中心に、利用者が一堂に会し交流等を図りながら情報の共有や活用ができ、その取り組みが認知症予防や介護予防につながることを目的として実施した。

### 2. 聴覚障がい者訪問型見守り生活支援事業の実施

〔目的〕 高齢聴覚障がい者を中心に、支援員が利用者を訪問し交流等を図りながら情報の共有や活用をし、家族との関係づくりも行い、その取り組みが認知症予防や介護予防につながることを目的として実施した。

### 3. 難聴者・中途失聴者向け事業の実施

#### ■鳥取県難聴者等向けコミュニケーション学習会の開催

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、実施を断念した。

### 4. 研修等への講師派遣

企業等からの要望に応じた内容での講師派遣を実施した。

### 5. サロン cafe ルアナの運営

地域住民や関係者の交流の場としてサロン会にて実施した。

### 6. 子ども企画

〔目的〕 聴覚障がい児にとって、同じ障がいのある先輩との交流は、自分の将来をイメージできる良い機会となっている。また、楽しむだけでなく、高齢聴覚障がい者から差別の歴史や、手話などを若い世代に伝承することを目的として実施した。

## 7. レク旅行 in 淡路ふくろうの郷

高齢聴覚障がい者が多く入所されている介護施設を訪問し、交流を通して実践内容についての学びを深めるとともに、高齢聴覚障がい者が情報の得にくい文化教養分野の知識を高めるための見学・体験活動を行った。

## 8. 手話通訳者の派遣

毎週土曜日・日曜日放送の中海テレビ放送コムコムスタジオに手話通訳の派遣を行った。

[期間] 毎週土曜日、日曜日 18:00～21:00

## 9. 学習会の開催（手話探訪）

手話学習者を対象として実施した。

## 10. 地域交流

### ■イオン手話フェス

イオン米子駅前店が主催する、「米子市手話言語条例制定記念事業」に協力した。

### ■秋まつり

西部ろうあ仲間サロン会が地域の方々や関係者との交流を図ることを目的として開催した。

### ■小学校との交流

近隣小学校が総合学習を活用してサロン会を訪問。成人ろう者から手話やろう者の生活を直接学ぶ機会として実施した。

### ■サロン会開放

サロン会の活動を広く地域住民の方々に知っていただくため、また、手話学習者等が気軽に立ち寄り、ろう者との交流を深めることができるように、週3回サロン会を開放し、様々な交流を行った。

### ■サロン会貸出

サロン会を地域住民の方々に知っていただくため、地域とのつながりづくりで、地域の自治会活動等に利用をいただいた。

## 11. その他

[米子市手話言語条例施策推進に係る意見交換会への出席]

### ・第1回 6月27日（木）

内容：施策推進方針策定の進め方、要望と対策案について説明、施策項目についての意見交換  
出席者：関係団体代表者、障がい者支援課、健康対策課、こども相談課、学校教育課

### ・第2回 8月9日（金）

内容：乳幼児におけるろう児並びに保護者、教育機関におけるろう児へ対する施策について  
出席者：関係団体代表者、障がい者支援課、健康対策課、こども相談課、学校教育課

### ・第3回 10月1日（火）

内容：災害時におけるろう者に対する情報提供及び意思疎通を支援するための施策について  
出席者：関係団体代表者、障がい者支援課、防災安全課

法人名： 特定非営利活動法人西部ろうあ仲間サロン会

## 財産目録

令和2年 3月 31日現在

(単位:円)

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	37,651		
山陰合同銀行	2,283,579		
ゆうちょ銀行	13,000		
鳥取銀行	516,000		
中国労働金庫	0		
未収金 受託事業費等	194,500		
流動資産合計		3,044,730	✓
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			3,044,730
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受助成金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			3,044,730

法人名： 特定非営利活動法人西部ろうあ仲間サロン会

## 貸借対照表

令和2年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,850,230		
未収金	194,500		
流動資産合計		3,044,730	/
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			3,044,730
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受助成金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,757,283	/
当期正味財産増減額		1,287,447	/
正味財産合計			3,044,730
負債及び正味財産合計			3,044,730

法人名： 特定非営利活動法人西部ろうあ仲間サロン会

活動計算書(平成31年4月1日～令和2年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
賛助会員受取会費	220,000	220,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	637,400	637,400	
3. 受取助成金等			
受取公的補助金	1,185,000		
受取民間助成金	880,000	2,065,000	/
4. 事業収益			
公的受託事業	1,850,000		
民間受託事業	1,608,460		
カフェ事業収益	133,970		
催事事業収益	57,190	3,649,620	/
5. その他収益			
受取利息	31		
雑収益	19,020		
使用料	2,600		
利用者負担金	714,285	735,936	/
経常収益計			7,307,956 /
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
謝金・手当	3,327,750		
送迎燃料費	354,348		
人件費計	3,682,098		/
(2)その他経費			
賃借料	425,590		
水道光熱費	89,636		
通信費	113,875		
車両費	0		
消耗什器備品費	145,880		
印刷製本費	55,575		
通信運搬費	29,518		
保険料	58,700		
消耗品費	51,179		
旅費交通費	499,028		
交際費	1,296		
食材費	261,352		
雑費	603,538		
その他経費計	2,335,167		/
事業費計		6,017,265	/
2. 管理費			
(1)人件費	0		
人件費計	0		
(2)その他経費			
旅費交通費	0		
印刷製本費	0		
通信運搬費	244		
消耗品費	0		
雑費	3,000		
その他経費計	3,244		/
管理費計		3,244	
経常費用計			6,020,509 /
当期正味財産増減額			1,287,447 /
前期繰越正味財産額			1,757,283 /
次期繰越正味財産額			3,044,730 /

(様式例)

前事業年度の年間役員名簿

(特定非営利活動法人の名称)

西部ろうあ仲間サロン会

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事長	森田忠正		平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	無
副理事長	杉本清司		平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	無
理事	森田絵理		平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	無
理事	笹間真智子		平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	無
理事	田辺大起		平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	無
理事	和田雅子		平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	無
監事	和泉浩司		平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	無
監事	瀬田篤		平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	無

(備考)

- 1 「役名」の欄には、理事、監事の別を記載する。
- 2 「住所又は居所」の欄には、鳥取県特定非営利活動促進法施行条例第3条第1項に掲げる書面によって証された住所又は居所を記載する。
- 3 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員について記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員のみについて記載する。